

内郷村報

天法人則
ルベシ順ナ則

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内外公私各團體の活動状況を報導し、併せて其協調を圖り、親和と協力を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事美行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村の発展に資する本村内外の諸問題を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て、國民指導に當る。

教育翼賛の 徹底強化

福島縣協働力會議々員
福島市第一國民學校長 鈴木春治

〔註〕此文は、三月十六日開會の、福島縣協働力會議議案に於ける鈴木氏の、提案の要であるが、予は「顧問」として之に列席し、多年唱道し來たる、予の教育制度改革論と一脈相通する處あるを喜び、特に氏に執筆を乞ふて、ここに掲載することにしたのである。

一、國民精神の使命と

大政黨運動は即ち大教育運動である。私は信ずるものであります。換言すれば、翼賛運動は教育を基礎づけ、教育は翼賛運動を方向づけるものであります。二者不離一体の關係をもつものであると思ひます。

教育の使命は國民生活の一切の背後にあつて、國力振興の基礎となり、精神作興の根元となり推進力となる力であり、而して最高最後の使命は國策と教育力の一体化であるに信じます。支那の國策と支那の教育が一体化したときあの物凄き抗日日毎日の精神が生れたのであります。獨逸の國策と獨逸の教育が一体化したときあの偉大なる復興の氣魄が起つたのであります。日本の國策と日本の教育が一体化したときは大東亞

の青、昭和六年五月一日發行の本紙第十號紙上に「斯くあらねばならぬ選舉革新案、我國空前の試み」と題する一文を掲載し、各政黨政派並に立候補者諸君に對

此時此際、政黨政派の濁

上の光榮であること、感激奮起、其職域を通じて、國策遂行に精進することゝなつたのである。

使命であると思ふのであります。これらより直ちに大政黨運動の使命であるを信ずるのであります。

二、教師の充實と
教育の尊重

教育翼賛上一大問題として、無肩の憂ふべき大問題は、教師の補充難、その資質の向上をいかにせよならぬことである。舟が目前にあつても、乗組員のない現狀であります。教育の新制度が完備し、現狀であります。前途ある若き中心の教師が轉退職をなし、續いては泣いてゐる現狀であります。やむなく助教を以て補充し、九人の教員中六人の助教があり、八人の

教員中六人の女教員とある學校も懸下にあるやに承知して居るものであります。この現狀で教育翼賛の實をあげ得ませうか。ここにいて何と云つても人材の招致、之が第一であります。



鈴木春治氏

之が對策はハツカリして公認の現實であり、即物心兩方面から待遇を講ずること、これが解決の有力なる鍵であります。これについていろいろ具體的の實狀を申上げたのであります。必ずや上通してその實現を期したいと切望する次第であります。次に臨時教員の養成、實力ある者に資格を與へることに仰つて、更に根本的問題は、師範教育の大刷新であります。その實現の可能を傳へてみますが、益をあげなければ安心できません。十七年度から必

す断行するやうな是非上通を願ふのであります。専門學校以上は、中等學校より優良教員を引き抜き、中等學校は國民學校より引き抜き、國民學校は、こゝから引き抜き、さうが、漸く高卒の少娘を引きぬく、否御願ひして補充する現狀、これ第一義の教育がでべきやうか。

本紙發行は大内一家の事業に止まり、其の私利私欲に對する選言を兼ねるものなり

本紙定價 一年五圓 半年三圓 三個月二圓 一月一圓 零售每份五分

教育者は口を開けば優遇を叫ぶ、よく言はれますが、之は個人個人の私問題ではありませぬ。教育界の危期をどうする、國家教育をどうする、第七十六議會において、教員臨時手当支給の提案理由は、教育者の窮乏せる生活を救ふといふ救済の爲にあらざりて、實に教育者自身の尊重國力の推進力とする教育者を尊重すべきであるといふ、第一義的目的理由で支給されたのであります。この考方、この見方を、一般社會人に持つて頂きたいのであります。願くば知事さんにおかれども、縣立學校や工場養蚕養蠶を御視察なさる際に國民學校一つでも一寸でも御覽願つて、激勵をして頂きたいのであります。之教育重視の第一歩であると思ふのであります。

三、教育環境の整備
と教育報國運動

次ぎは設備の充實であります。兵と武器、農と農具は一体であります。人、物、元は一體であります。兵と武器、農と農具は一体であります。人、物、元は一體であります。兵と武器、農と農具は一体であります。人、物、元は一體であります。

計畫も結構です。更に義務教育の延長と共に、その完成教育をなす爲に國家は「設備の國庫補助」を當然すべきであると思ひます。以上事項は是非上通を願ひたい。更に私は設備の充實と、教育の重なる二点より全縣下一校も洩れなく、國民報國會教育後援會を結成し、物心兩方面より教育を後援強化をはかる「教育奉公運動」を提唱したいと思ふのであります。前も教育上必要設備は當然市町村において豫算に計上すべきであると思ひます。またさうあるのが本當であるが、事實は中々容易でないのであります。

殊に税制の改革につれて、収入の市がなくなり、従来よりも容易でないう現狀であります。之等の變和からも、我が村、我が町の教育は、吾等がやるべきもの、全村全町全市の協力によるべきもの、子供が在るあるのうちに、いかに全村全町教育の爲に一役買つて頂きたいのであります。そして全町の指導者教育者であり、市町村の諸設備諸行事は悉く學校、教育を是正し見直して頂きたい。即ち學校一任の從來を改めて、一學校協力へ建直を希望するのであります。かうなつて始めて國民學校の趣旨にあり、家庭と社會と學校の三者が、極めて緊密な連絡がつき教育の徹底を期すことが出来ると思ひます。

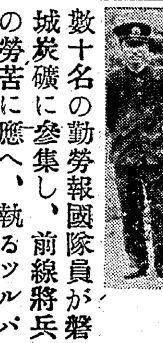
其の他青少年團の教育や、青年學校の問題等々ありますが、時間もありませんから割愛して委員會にゆづりました。最後に先般設立を命じられた縣政調査會第三部、即ち「教育文化部」の活動を望み、本縣教育振興上實行力ある機關として、ますます御精進を祈る次第であります。

以上申しましたやうに、大政黨運動の強化の根元は即ち教育の徹底強化にあると思ひ、私私の發表を終ることにいたします。

以上申しましたやうに、大政黨運動の強化の根元は即ち教育の徹底強化にあると思ひ、私私の發表を終ることにいたします。

以上申しましたやうに、大政黨運動の強化の根元は即ち教育の徹底強化にあると思ひ、私私の發表を終ることにいたします。

以上申しましたやうに、大政黨運動の強化の根元は即ち教育の徹底強化にあると思ひ、私私の發表を終ることにいたします。



教育制度改革概論

服部宇之吉 大内民恵著

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案主義を提唱す。天下知名の士の賛同致學に邁あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威 前京大總長小西重直博士 書を寄せて曰く、多年の御監臨下實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議ニ打テ申候云々。

發行所 日本評論社 東京橋本三丁目 取次所 内郷村報社

常會運営に部制の活用

縣並に翼賛會支部に於ては市町村常會に部制を設け、その活用を勸奨し來つたが今左記の通り標準部制案を決定した。

市町村常會部制

Table with 10 columns: 部別, 部長, 主管, 分掌, 概目. Rows include 庶務部, 産業經濟部, 社會部, 教化部, 警防部, 青壯年部, 婦人部.

備考 一、市町村単位を左記委員會は常會委員と其の人的構成を一にするやう努むること。 二、本表は標準部制を示したるものなを以て市町村に於ては夫々地方の實情に即應せる具體的分掌項目を決定し各部聯絡協調の下に圓滑なる運営を期すること。

内郷村各部落會名、會長氏名及區域

Table listing village associations and their leaders. Columns include association name, leader name, and region. Includes entries like 白水第一會長 大越 貞一, 高坂會長 遠藤萬四郎, etc.

特志家の寄附

陸軍少尉渡邊好雄君には 中支戦線に於て活躍中の處 過般の戦闘に於て名譽の戦 死を遂げられたる旨公報に 接したる遺族實兄の政一氏 より、村内左記七團體に各 金貳拾圓づゝの寄附ありた り。 内郷村統後奉公會

愛國々防婦人會内郷村分會

警防團高坂分團 青壯年隊高坂分隊 高坂國民學校 一田口淳三 兼題 日傘 西瓜 警炭第二回俳句會句抄

大政翼賛下の選挙はかくてこそ

大政翼賛會 大内民恵

去る二十三日の各新聞朝刊に、其前日たる二十二日に、平市公會堂に開會せられた、郡協力會議後、それに出席した、町村長全部が更に會合して、來月執行せらるる、縣議木村守江氏の失格に伴ふ、補缺選挙にあたり、其候補者を推薦することとなり、古川植田、小野小名濱、金成好間、柴崎小川、木田大野の五町村長諸君が、其詮衡委員に擧げられ、木村守江氏の舅父にして、現大浦村長木村清治翁を擧げ、其快諾を得たといふ事を報道せられてあつた。之を讀んだ予は直ちに御軍に召されし吾子に代はらむと誓ひた、れし君ぞゆかしき一首をものし、之を同翁におくつて、其壯學を敬仰禮讚したのである。

回顧すれば、十有一年前の昔、昭和六年五月一日發行の本紙第十號紙上に、「斯くあらねばならぬ選挙革新案、我國空前の試み」と題する一文を掲載し、各政黨政派並に立候補者諸君に對して、同日附を以て、同年九月舉行の縣議選挙にあたり、候補者全部を招聘して、「政見聽聞會」なるものを創催する旨を通告し、同年九月二十日、豫期通り當時の候補者、赤坂、井上、野崎、萩原、田子の五君を招聘して、之を警城劇場に開會し、而して其翌年衆議院選挙が行はるるや、又其二月十四日同所に於て、氏家佐藤、比佐、鈴木の各候補者諸君を招聘して、「第二回政見聽聞會」を開催し、何れも相當の効果を納め、爾來幾年、政黨内閣、各政黨並に黨員等に對して、忌憚なく檢討を行ひ、之れに指導を加へたのであつた。

而して其四年後なる、昭和十年五月、勅令を以て、選挙肅正委員會令が發令せられ、翌六月本縣に於ては選挙肅正委員會を設置、知事の委員が選任せられ、三十名其席末を汚すを得たるを好機として、此時とばかりに其最善を致したのであつたが、多年流れつた濁水は

一朝にして容易に之を澆清すべくもなく、兒島高德ならざるも「報國の丹心獨力を嘆き、回天の事業空拳を如何せん」の感を、いごとど深うした事であつた。

然るに滿洲事變、日支事變が相次いで頻發するに及んで、一億國民は、大稜威の下、期せずして打つて一團、二千六百年前の清泉に

「乙二忌」十句集抄
乙二忌や水うるははじ町にして
香水をつけておしやれてエヤカル
故郷の夏凌ぎよし濃紫陽花 綾園
乙二忌のしづかに暮れて閉古なく
紫陽花やホテルの犬にまつはられ
紫陽花の紫ふくむさきぞよき 貞二
紫陽花の葩のさぶ忌日かな 廉吉
紫陽花の濃くなり父の忌日くる
香水やえくば豊かにふりむける 悦子

通り、其下流悉く清冽化し、政黨解消、學國一致、輝く旭日旗下に、東亞共榮圈建設、世界平和顯現の一大使命に邁進するといふ、刻下の機運に到達したといふことは、無比の幸福であり、無上の光榮である。感激奮起、其職域を通じて、國策遂行に精進することとなつたのである。

此時此際、政黨政派の濁

流を一清し、我全郡町村長諸君が、木村翁を推薦したといふことは、眞に國策に順應した美舉といふべく、翁亦之に感激して、老軀を提げて、蹶起したる其至誠に至つては、洵に義舉として推奨に値ひすべきである

先きに予は、同翁に就いては、其之を知ること甚だ少なかつたのであつたが、過去數年以來、縣、郡に於ける各種會合や、汽車中等に於て、屢々其席を同うし親炙其度を重ねるにつれて其至純至誠、直情徑行、經綸高邁、眞に國士たるの其風格には、衷心から傾倒措く能はざるに至つたものである。

縣議、代議士の前歴を有する翁が、一縣議たるは、恰も「鷄を割くに牛刀を以てする」が如きものではあるが、一億一心下の、國家は多難、縣下は多事である全郡民は悉く翁の立候補に感喜すると共に、無競争裡に其當選が確保せらるるも、のと思はれる。

希くは翁！自重加登、百六十萬縣民の指導者となつて、國策遂行の爲に、奉公献贊の聖勞をとられんことを!!衷心から祈念して己まない次第である。

因みに予は、警城の天地にあること二十余年、未だ會つて行使したことのなかつた聖權を、此度こそは考へて居る。九月二十三日夜稿

就任の挨拶

内郷村 農會技手 川音 優

私は今回回らちも、本村農會の技師を拜命した者であり、各位の御協力に御禮を、切に御願ひして其職責を全うしたいと念願する次第であります。

從來農會の指導目標の殆ん全部分は、農産物生産の技術的指導に依つて、小資本多額の實を擧げ、以て農家經濟の向上を圖ることに目的でありましたが、現在に於ては事變の長期化に伴ひ、其は農會の事業の一部となり、指導部面は勿論、其事務の方面も廣汎になつたのであります。即ち事變當初に於ては、左程顧みられなかつた農業が、漸次國家總力線に副つて、總ての農産物が、國家の目的の爲に

故に農會に於ては、其等をして最も効果的に、國家總動員の線に副つて、生産に精勵しなればならぬこととなつたのであります。故にさうあつて、指導部面は勿論となつて、其目的達成の爲に邁進したいと思ふのであります。重ねて皆様の御協力に御禮をお願ひして、私の挨拶といたします。

内郷村報の六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内外公私各種團體の活動状況を報導し、併せて其協働を圖り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事美行を表彰し、且之を獎勵す。
- 五、本村の発展に對する本村報の責任を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て、國民指導に當る。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の缺點に對する選言を兼ねるものなり

本紙定價 一月五錢 三月十五錢 半年三十錢 一年六十錢 郵費別

發行所 大内郷村報社 大内郷村 大内民恵 氏 事務所 大内郷村 大内民恵 氏

天法人則 從順ナ

使命であると思ふのであります。これよりも直ま大政翼賛運動の使命であると思ふのであります。

二、教師の充實と教育の尊重

小断行するや、是非上通を願ふのであります。専門學校以上は、中等學校より優良教員を引き抜き、中等學校は國民學校より引き抜き、國民學校は、こゝから引き抜き、ま

計畫も結構です。更に義務教育の延長と共に、その完成教育をなす爲に國家は「設備の國庫補助」を當然すべきであると思ひます。

以上の事項は是非上通を願ひたい。更に私は設備の充實と、教育の尊重の二点より全縣下一校も、使れな